

1	会議名	令和5年度 第1回総合教育会議 会議録
2	開催日時	令和5年7月14日（金）午後2時00分～午後3時25分
3	開催場所	6階 全員協議会室
4	出席者	市長 福田 良彦 教育長 守山 敏晴 教育長職務代理者 廣田 登志子 教育委員 村尾 利勝、渡邊 博明、柿木 秀雄
5	欠席者	なし
6	説明のため出席した者	教育次長 丸川 浩 学校教育課長 重本 浩志、 給食管理室長 貞光 隆 学校教育課 学務班長 白石 実奈、 ICT教育推進室次長 木下 勝貴 青少年課長（教育センター所長） 倉本 敦 生涯学習課長（中央公民館長） 岡田 司 中央図書館長 山本 圭子 周東支所長 加藤 勝巳 英語教育推進室長 村中 俊一郎、 施設班長 櫻田 和宏 科学センター 伊藤 靖浩
7	事務局	教育政策課長 村重 武志 政策班長 大黒屋 誠、政策班 村上 葵 政策企画課長 賀屋 和夫
8	協議事項	(1) 令和5年度の主な取組（教育関係施策）について
教育政策課長  市長		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定刻になりましたので、令和5年度第1回岩国市総合教育会議を開催します。なお、本日の会議の終了予定時間は午後3時30分としておりますので、御協力をお願いいたします。</li> <li>それでは、開催に当たりまして、福田市長に御挨拶をお願いします。</li> <li>・皆さん、こんにちは。市長の福田です。令和5年第1回岩国市総合教育会議に御出席いただきありがとうございます。この会議は、教育委員会制度改革によって、地方公共団体に設置をするということで、平成27年5月に第1回目を開催しまして、今回で17回目になります。この度は新たに柿木教育委員に加わっていただいております。令和5年度の教育関係施策の主な取組について、各所管からの説明の後、意見交換を行いたいと思います。今年度実施する主要事業ですので、皆さんと十分に意思疎通を図りながら、本市の教育行政の充実を図ってまいりたいと思いますので、有意義な時間となりますようよろしくお願いいたします。</li> </ul>

教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続きまして、6月28日付けで新たに教育委員に御就任された柿木委員に御挨拶をお願いいたします。</li> </ul>
柿木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めまして。この度、教育委員を拝命いたしました柿木と申します。簡単に自己紹介をさせていただきます。1984年に門前に生まれ、愛宕小、高水中・高、東京大学、同大学院と進み、環境問題の研究をしておりましたが、人づくり、社会づくりに貢献したいということで、2009年に新卒で組織人事コンサルティングの会社に入社しました。東証プライムに上場している会社で、皆さんが御存じの大手グローバル企業から中小ベンチャー企業まで、年間5,000社くらい様々な企業の従業員の皆さんのモチベーションを高めて、それを組織成果につなげるコンサルティングを6年ほどしておりました。その後、かねてから思いのありました子供たちの環境づくりという面でチャレンジをしたいということで、学校教育も含めて広く環境を変えていきたい。もっと言えば、家庭教育、地域教育も含めて変えていきたい。そのようなチャレンジをするに当たって、民間の教育機関でスピーディーに試行錯誤できる環境の中でいろいろ試してみたいと思い、学習塾を東京、大阪、兵庫併せて16拠点で展開しております。主に自立性や主体性、キャリアづくりということで、私のテーマとして、「教育の出口とビジネスの入り口のギャップをなくす」ということをずっと考えており、ビジネスサイドを見てきた人間から教育現場に還元できることはないか試行錯誤を重ねてまいりました。この度、教育委員を拝命しましたので、組織づくりの観点で言えば、学校の先生の働き方や学校組織の作り方など、微力ながら貢献できればと思っております。子供たちの主体性、自立性については、文科省主導で取り組んでおられると思いますので、我々の実験で上手くいっている部分など、試行錯誤を共有させていただきながら一緒にやっていければなと思っております。そして、子供が市内の小学校に通っておりますので、実際に親として、岩国の学校現場を見たときに、すばらしい部分や改善点をお伝えできればと思っております。微力ではございますが、努めてまいりたいと思いますので、引き続き、御指導、御鞭撻の程、よろしく願いいたします。</li> </ul>
教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、議事進行につきましては、岩国市総合教育会議運営要綱第4条第3項により市長をお願いをいたします。よろしく願いいたします。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、お手元に配布されております資料に沿って、議事の協議を進めてまいりたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。「令和5年度 主な取組（教育関係施策）」について協議を進めますので、順次説明をお願いします。</li> </ul>
教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、資料に沿って、教育政策課から御説明をさせていただきます。</li> </ul>

す。「令和5年度 主な取組（教育関係施策）」を御覧ください。教育政策課から主な取組事業10事業ほど挙げております。

- ・まず、表の上3つが学校のトイレ改修に係る事業となります。本市では、学校施設のトイレ環境を改善するため、現在、2つの事業を組み合わせ、計画的に取り組んでいます。上2つが小・中学校のトイレ改修事業で、校舎の老朽化等によって、特に劣化が進んでいる市立小・中学校について、トイレの壁、床、トイレブース、換気設備等を更新し、併せて便器についても、和便器から洋便器に交換を行うもので、トイレを丸ごと更新する事業になります。トイレ簡易改修事業につきましては、トイレの洋式化率の向上を図るため、今ある便器を、和便器から洋便器へ取り替える事業です。したがって、上2つの小・中学校のトイレ改修事業については、簡易改修事業に比べて事業規模も大きく、また改修工事の実施に当たっては、その前年度に実施設計業務を行うため、事業は2か年にかけて進めていくこととなります。このトイレ改修事業の本年度の予算額については、小学校施設トイレ改修事業として、2億7,823万8,000円、中学校施設トイレ改修事業として、2億982万1,000円を予算措置しています。小・中学校合わせまして4億8,800万円を、今年度トイレ改修事業として予算措置をし、現在事業を進めているところです。財源につきましては、いずれも国庫補助金や地方債を活用することとしています。事業内容につきましては、昨年度に実施設計を終えた2つの小学校と、2つの中学校の改修工事を行い、さらに、令和6年度の工事に向けて、2つの小学校と、2つの中学校の実施設計を行うこととしています。改修事業の内容をイメージしていただきやすいように、改修工事の施工前と施工後の写真を参考に付けております。トイレ簡易改修事業につきましては、予算額1,000万円で、今年度は小学校3校、中学校5校において、全部で20基程度を、和便器から洋便器に改修する予定としております。簡易改修事業の財源については、全て市費で賄うこととなります。これについても、事業の内容をイメージしていただきやすいように、簡易改修前と改修後の写真を参考に添付しております。
- ・次に、表の下2つにお示ししているのが空調設備整備事業です。本市の小・中学校の空調設備の整備状況について、普通教室については、平成29年度までに全ての市立小・中学校の整備を終えて、現在、主に授業で使用する特別教室の整備を進めているところです。現在の特別教室の整備率は、令和4年度末で68.7パーセントでございます。よって、ここに掲げる事業は、小・中学校の特別教室に係る空調整備事業となります。今年度は、小学校1校、中学校2校の整備工事を実施し、また、来年度の工事に向けて、中学校2校の実施設計業務を行うこととしています。予算額は、小学校分として4,767万8,000円、

中学校分として1億2,374万8,000円で、財源については、いずれも国庫補助金や起債を活用しています。

- ・次に、灘小学校屋内運動場改築事業です。灘小学校の屋内運動場は、建築から70年が経過し、老朽化により雨漏りや床板の劣化が進んでおり、これまでその都度修繕工事等で対応しておりましたが、この度、改築を行うことで根本的な改善を図るものです。本年度の予算額は2億7,147万円です。事業内容は、昨年度までに行った実施設計に基づき、今年度から令和6年度にかけて改築工事を行います。
- ・次の英語交流センター運営事業を含めて、下4つの事業が英語教育に関する事業です。当課では、魅力的な英語交流のまちとして、若い世代を中心とした幅広い世代に選ばれるまち、活気ある地域の実現を目指して、英語をキーワードとした様々な事業に取り組んでいるところです。まず、英語交流センター運営事業の事業内容につきましては、令和4年3月に、JR岩国駅東口駅前で運用を開始しました岩国市英語交流センター「PLAT ABC」において、英語の学びや学び直しの機会の充実を図り、国際交流活動を促進するため、各種イベントや講座を開催し、令和4年度には163件の様々なイベントを開催し、3万人を超える方々に御来館いただきました。今年度も引き続き、外国人と市民とが、自然にコミュニケーションを図れる環境を提供していきたいと考えています。今年度の予算額は、4,200万7,000円で、センターの運営委託費や施設維持管理費等を計上しております。財源は、基金事業として、国からの交付金を充てています。
- ・次の英語教育推進事業と国際交流支援員常駐配置事業ですが、英語教育推進事業は、小学校に外国語指導助手（ALT）を配置する事業で、国際交流支援員常駐配置事業は、地域への語学指導の一環として、市内全ての中学校に国際交流支援員を常駐配置している事業です。英語教育推進事業の予算額は、4,870万8,000円です。市内の小学校31校を10グループに分け、10人のALTで指導を行います。国際交流支援員常駐配置事業の予算額は6,810万4,000円です。市内14校全ての中学校に支援員を配置し、生徒への語学指導を行うとともに、地域への語学指導や国際交流教室など、地域での国際交流活動も行っています。この事業の財源としては、県の交付金を活用しています。最後になりますが、英語交流のまちIwakuni推進事業です。予算額は144万1,000円です。当事業は、日本語や日本文化を大切にしながら、基地を地域資源として捉え、積極的に活用し、学校における英語教育の充実や国際交流事業を推進することで、グローバルな人材の育成を行うため、基地の外国人ボランティアとの交流や、外国人講師の指導の下で様々な体験プログラムにより、英語によるコミュニケーション能力を身に付けるイベントの開催、さらには、中高生が外国人

学校教育課長

から見た岩国について話し合い、最終日に英語で岩国の魅力を発信する発表会の開催など、様々なイベントを開催することで、今年度も、「英語交流のまち I w a k u n i」を推進していくこととしています。教育政策課からの説明は以上です。

- ・学校教育課からは6つの事業について御説明させていただきます。
- ・まず、継続の小中学校学校給食運営事業です。予算額は5億9,791万1,000円です。平成30年度から学校給食運営基金を活用し、市立小・中学校の学校給食費の無償化を実施しております。
- ・次に小中一貫教育推進事業です。昨年度まで、確かな学力推進事業と小中一貫教育推進事業を別事業として予算計上しておりました。小中一貫教育におきましては、教職員の意識と目標のつながりがここ数年で進んできたこと、タブレットの導入によって通信を介したつながりも進んだことから、今年度から2つの事業を一本化しました。それによって、小中一貫教育の基盤の上にカリキュラムや子供の心、家庭、地域との絆をつなぎながら、中学校区全体の学力向上を進めていきたいと考えております。予算額は241万3,000円です。年に2回、小中一貫教育担当者協議会を開催し、指導者として山口大学から講師を招へいして研修会を行います。また、指定事業として、2つの中学校区を2年ごとの研究校に指定しております。毎年全市に発表して、好事例を展開していきます。
- ・3つ目は、小中学校日本語指導支援員配置事業です。予算額は1,211万6,000円です。日本語が話せない、日常会話程度しかできない軍人・軍属の子供たちに対して、学校への適応を図ることを目的としています。授業中に当該児童生徒のそばに寄り添って日本語のサポートをしたり、昼休みなどを利用して個別に日本語の基礎を教えたりする活動をしており、4人の支援員の配置しています。財源は県の再編関連特別地域整備事業の基金を活用しております。
- ・4つ目に、新規事業で帰国・外国人児童生徒教育推進支援事業です。業務内容については、小中学校日本語指導支援員配置事業と同様ですが、本事業は、軍人、軍属以外も含む小・中学校に在籍する外国人子女の児童生徒を対象とします。予算額は1,072万7,000円で、3人の支援員を配置しています。財源は、帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業を活用し、補助率は国と県と市が3分の1となっています。
- ・5つ目に岩国北部地域給食施設整備事業です。岩国北部地域にある小・中学校8校の給食調理場につきまして、いずれも老朽化していることから、美和西小学校給食調理場を共同調理場に改修し、北部地域の各学校に対し給食を配送するもので、将来にわたり安心・安全な学校給食を安定的に提供するため行うものです。令和5年度に係る事業

<p>青少年課長</p>	<p>の予算額は、2億2,490万円です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後に小中学校ICT推進事業です。予算額は6,821万3,000円です。GIGAスクール構想をはじめとした急速な学校のICT化に対応するため、6人のICT支援員が市内の全小・中学校を巡回訪問し、ICT機器の活用推進を支援します。また、学習支援ソフトを導入し、児童生徒が主体的に学習を深めていくことができるよう引き続き取り組んでまいります。学校教育課からは以上です。</li> <li>教育センター・青少年課です。2つの事業について御説明いたします。</li> <li>1つ目は、自立学習応援プログラム（eラーニング）導入事業です。令和3年度から実施していますが、学校に行けなかった時期の学習内容を学び直すことを目的として、教育支援教室に通室してくる不登校児童生徒を対象に、eラーニング教材「すらら」を活用して学びの充実を図っております。本事業は3年の継続事業であり、令和5年度が最終年となります。令和4年度同様に、一般財源から予算額165万4,000円を計上しております。</li> <li>2つ目は、新規事業で教育センター空調設備改修事業です。平成14年4月1日に開設した教育センターの空調設備が老朽化していることから、同設備を更新するものです。令和5年度は設計業務となり、7月21日に入札になっております。以上です。</li> </ul>
<p>生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習課及び中央公民館の事業について御説明いたします。</li> <li>まず、「とどける」家庭教育支援事業です。こちらは継続事業で、主に報償費として298万1,000円を計上しています。この事業は、課題を抱える家庭や孤立しがちな家庭などを対象に、学校と協働して子育てや家庭の課題に関する相談対応や情報提供等を通じて、家庭の自立と課題解決につながる専門機関への橋渡し等を行っており、本年度で5年目を迎えます。現在、小学校31校のうち22校で、支援員57人が活動しています。事業の実施に当たっては、支援員の資質向上を図るための研修会の開催や、支援員同士の意見交換の場を設け、支援員に対してのケアも継続して行っています。また、切れ目のない子育て支援、家庭教育支援体制の構築を図るため、教育委員会の関係課と福祉部局等の関係機関が連携して取組を進めております。</li> <li>次に、玖珂こどもの館ホール排水設備設置工事について御説明いたします。この事業は継続事業で、昨年度に設計業務を行い、本年度は工事請負費として、541万2,000円を計上しています。当施設のホールは、半地下に配置されているため、大雨などにより、平成30年に床上75センチメートル浸水し、その後も4回の浸水事故が起きていますが、当施設には小型の排水ポンプしかないため、浸水の状況を確認しながら、手動で排水しているのが現状です。そうしたことから、浸水した水を排出するため、ポンプ2台の設置工事を行うものです。ま</li> </ul>

た、事務室には警報盤が設置され、施設の管理もしやすくなるよう考えております。工事の実施につきましては、本年6月に入札を行っており、資材がそろい次第、工事に着手する予定です。

- ・次に、教育施設駐車場整備事業です。新規事業で、委託料として354万7,000円を計上しています。この事業は、旧玖珂総合支所と旧玖珂公民館を解体した跡地に駐車場を整備することで、周辺の玖珂幼稚園、玖珂小学校、放課後児童教室、生涯学習施設の「こどもの館」など、教育施設を使用される方の利便性と安全性の向上を図るものです。また、玖珂本陣と代官所が存在していたこと、玖珂町役場の跡地であることなどを盛り込んだ説明版を備えた東屋風の停留所も併せて計画しています。本年度に設計を行い、令和6年度に工事を実施する予定です。

- ・次に中央公民館の事業ですが、中央公民館整備事業につきましては、本年度の予算額は、1億5,498万6,000円を計上しています。現在、昨年度から継続して、実施設計と解体工事を行っているところですが、実施設計は本年10月に、解体工事は本年9月に完了する予定です。また、地質調査については、7月中に完了する予定です。なお、建設工事については、工事費の積算を行い、9月補正で予算要求する予定にしています。その後、本年度末に契約を行い、令和6年度当初に着工し、令和7年12月の完成を予定しており、令和8年度当初の開館を目指しています。以上です。

中央図書館長

- ・中央図書館から2点の事業を御説明いたします。
- ・まず、図書館システム改修事業についてですが、これは平成28年度に更新しました現行システムが、令和6年2月にサポート終了となるため、新たにシステムを導入するものです。予算は主にシステムの構築費やデータの抽出・移行業務など、委託料として2,553万5,000円、パソコン等備品購入費として1,795万2,000円、その他システム利用料、消耗品費など合計4,456万円を計上しております。業者選定方法といたしまして、公募型プロポーザル方式としております。
- ・次に、周東図書館屋根防水改修事業です。昭和57年7月に新築開館した周東図書館ですが、老朽化して穴や亀裂がある屋根防水シートから、大雨のたびに雨漏りしているため、既に改修している書庫部分を除き、改修するものです。予算は、改修設計業務として委託料に158万1,000円、工事請負費に1,857万4,000円計上しております。財源として、国の国庫補助を活用することとしております。以上です。

教育次長

- ・科学センターの説明を行います。新たな科学センターの建物等については、福祉部門と統合の建物になっておりますので計上はございません。運営についてのみ計上しております。建物について、令和4年度に設計が完了し、今年度建設に着手する予定です。その中で展示につ

	<p>いては、科学センター整備検討委員会からの意見を参考に、VRなどを活用した体験型の展示を検討しております。今年度は11万4,000円を先進地視察費用として計上しております。今後は小・中学校の理科部会、各学校長や関係者等にヒアリング、アンケートを行い、理科学習プログラムの策定に向けての協議を進めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・添付した資料についてですが、1ページ目が複合施設の全景となります。2ページ目が、複合施設を海側から見た外観イメージで、施設2階の右手側が主に科学センターの施設になります。3ページ目は複合施設の平面図になります。青色で着色されている部分が科学センターになります。面積は1,200平方メートルで、実験室や工作室も完備しております。4ページ目はまだイメージ図ですが、常設展示としてVRなどで展示施設を配置したいと考えております。以上です。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各所管の方から説明がありましたが、順次質問等を受け付けたいと思います。まず、教育政策課分から御質問等ありましたらお願いします。</li> </ul>
柿木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育推進事業と国際交流支援員常駐配置事業は、小学校と中学校で違いがあるという理解でよろしいでしょうか。</li> </ul>
英語教育推進室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい</li> </ul>
柿木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT10人と国際交流支援員14人は重複している方はいらっしゃるのですか。それとも、求められる能力が異なっていて、別の方ですか。</li> </ul>
英語教育推進室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別の方になります。</li> </ul>
柿木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員を共通化した場合、予算は削減できるのでしょうか。</li> </ul>
英語教育推進室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複させることは物理的には可能ですが、現行の授業時間が減ることになります。</li> </ul>
柿木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求められている授業時間を満たすには、このくらいの人員と予算が必要ということですね。承知しました。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの改修事業について、年間十数回学校訪問をしていますが、改修した学校については、子供たちが掃除をまじめにしてくれにしております。かつては、傷や落書きが付いていたりしていましたが、今はほとんど見受けられません。スリッパも整えられており、きれいなトイレを清潔に保とうと心掛ける相乗効果が出ていると感じました。ブースにしても非常に良いものを使ってますし、子供たちの使い勝手も良いのではないかと思います。</li> <li>・それと、見えない部分ですが、設計業務等などについても教育政策課はよくやってくれているなど感じております。例えば、玖珂小学校の「電気を使わずに部屋を明るくする」教材が、教科書の中に1ページ分掲載されており、設計業務においても子供たちのために、暗い部屋でも外の明かりを取り入れて有効活用できる形のものを作ってください、誇らしく思っております。引き続き工夫して環境づくりに取り組んでもらいたいです。</li> </ul>

教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの洋式化率はどれくらいですか。</li> <li>・令和5年3月末時点で38.5パーセントです。全国平均が約6割ということですので、そこを目指して整備を進めているところです。</li> <li>・今申し上げたように、トイレが新しくなると清潔を保つようになるなど相乗効果もありますので、金銭的にはかかりますが、ぜひ早めに改修が進むように努力して環境を整えていただきたいと思います。</li> <li>・国際交流支援員についてですが、英語交流センターの運営事業ともリンクしますが、利用者が3万人を超えたと発表がありました。人数は自動的にカウントされていますよね。</li> <li>・はい。</li> <li>・様々なイベントが163件実施され、国際間の推進に随分寄与されていると思いますが、オープンして1年3か月が経ち、市民のニーズや要求が高くなり、実際に訪ねてみたときに、外国人の支援員がいなくて英語で会話ができなかったということを知りました。中学校に配置されない日にPLAT ABCで働かれていますと思いますが、予算があるなら、常駐できるようにして、いつでも外国の方と英会話ができるような環境を整えてほしいと思います。</li> <li>・PLAT ABCの認知度も市民の方のニーズも高まっておりますが、外国人と話す目的で来られたときに、時間帯によっては支援員がいないこともあり、実際にお叱りを受けたこともありました。今は地域活動の一環として、国際交流支援員の方を配置しており、皆さんが国際交流・英語交流ができるように努めております。</li> <li>・PLAT ABCを運営する委託業者DMM. comが積極的に人材の派遣をできませんか。</li> <li>・現在は、国際支援交流員に入っています。DMMに担当していただいているのは、イベントになります。</li> <li>・DMMの社員には英語を話せる人材がそろってはいますが、外国人の配置は条件にしておりません。</li> <li>・人気が高くなっていますからね。</li> <li>・DMMの職員を通して英会話は可能ということですよ。</li> <li>・日本人同士ですが、英語が堪能な方を配置しています。</li> <li>・ただ、外国の文化や考え方を学びたいと要求は高いです。</li> <li>・良いことですね。</li> <li>・トイレ改修工事について、川下中学校のトイレが現在工事中ですが、生徒も使用するかなり大きな仮設トイレが設置されています。足場を組み、テントを張って仮設トイレを設置しているのを見ましたが、この時期、突風が吹くこともあり、気になりました。業者も安全・安心に心掛けていますが、夏休み期間中も部活等で子供たちが使用するというので、トイレ工事に限らず、工事中の足場が崩れないよ</li> </ul>
村尾委員	
廣田委員	
教育政策課長	
廣田委員	
英語教育推進室長	
市長	
英語教育推進室長	
教育次長	
廣田委員	
教育長	
教育次長	
廣田委員	
教育長	
渡邊委員	

市長 柿木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>う今一度徹底をお願いしたいと思います。</li> <li>次に学校教育課への質問に移ります。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校 ICT 推進事業に係る予算ですが、授業支援ソフトの導入にかかるものでしょうか。それとも人件費でしょうか。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>会計年度任用職員雇用に係る人件費が約 1,500 万円。それと G I G A スクール運営支援センターがありまして、こちらは委託になりますが、国から 2 分の 1 の補助がありまして約 1,800 万円、学習支援ソフトに係るものが約 1,500 万円、その他修理費やルーター代、著作権を侵害したときの補償など計上して約 6,800 万円になっております。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語指導支援員が 4 人と 3 人に分けられていますが、実際に支援を要する子供は何人ですか。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>転出入等ございますが、英語以外も含めて 80 人ほどの報告を受けています。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語圏以外の言葉はどうですか。</li> <li>そこが難しいところで、英語先行でさせていただいている中、タブレットの翻訳機能を活用して支援している子供もいます。タガログ語など話せる方がなかなかいないのが現状です。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食運営事業ですが、給食の無償化を始めて何年になりますか。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年からなので 6 年目になります。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校給食無償化のスタート時は 5 億円いくかいかないかであったと思いますが、今、食材の高騰などもあります、6 億円に近づいていますよね。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>食材の高騰により、令和 4 年の 4 月と 10 月にそれぞれ値上げをしました。令和 4 年度スタート時は小学校が 270 円、中学校が 310 円、現在は小学校が 285 円、中学校が 325 円でどちらも 15 円ずつ上がっております。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>食材高騰分を給食費に転嫁していないので、保護者には上がった感覚がないでしょうね。</li> </ul>
教育次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者には、単価は上がっていますが、負担はない旨の通知はしています。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰国・外国人児童生徒教育推進事業に該当する子供はどこに配置していますか。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>川下地区が多く、川下小学校、愛宕小学校、麻里布小学校に配置しております。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>それ以外の学校に転入した場合はどのようなサポートがありますか。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>転入する場合、事前に学校教育課で面談をさせていただいており、その際に支援ができる学校の情報を提供しています。支援が必要な子供については、校区外であっても支援員が配置されている学校に通っていただいています。</li> </ul>

村尾委員	・当該児童独自のカリキュラムを作って、その時間帯だけその学校へ行くよう保護者の送迎で対応しているのですか。
学校教育課長	・校区外の場合、学校自体を変えていただいています。授業中、横に付いていることが多いので、そのような形としています。
村尾委員	・本事業の評価はどうか。
学校教育課長	・多言語のカバーが難しく、学校教育課で運営会議を開き、支援員の困り感などを吸い上げ、尽力はしておりますが、5段階で評価すると3を付けざるを得ない状況で、全てのニーズに対応できていないもどかしさがあります。
村尾委員	・言葉の慣れですが、小学校6年生の時に中国から来られて、川下小学校で1年間、川下中学校で3年間通われて、岩国高校でトップになったという例もありますので、手厚い保護をお願いします。
市長	・評価にはいろいろな物差しがあると思います。多言語、多国籍の子供がクラスの中で相互理解を深めるのは難しいと思いますが、子供たちはどのようにコミュニケーションをとろうとしていますか。
学校教育課長	・学校訪問をする中で、学級の中に溶け込んでいる子供が多いですが、生活習慣の違いに戸惑っている子供もいるので評価を厳しめに付けています。在校生にとって良い影響を与えていることはあると思います。
市長	・ほかになければ青少年課・教育センターに移ります。 ・次に生涯学習課に移ります。
廣田委員	・「とどける」家庭教育支援事業は今年で何年目になりますか。
生涯学習課長	・国のモデル事業として平成28年度から3年間平田小学校で実施されましたが、令和元年度から市独自の事業として始めたので今年で5年目となります。
廣田委員	・発足当時は支援員が見つからず、依頼しても、年に3回程度しか活動する機会がなかったので固定化が難しかったです。現在は支援員が57人に膨らんだと聞いて、かなり努力されたなと感じました。支援員は単独で活動されているので孤立しがちで、研修も難しかったのですが、今は研修もされているということで、資質も向上しており、すばらしいと思います。研修をされる時に、課題を抱える家庭や、孤立しがちな家庭を対象としているので、なかなか学校からの情報だけでは該当するケースかどうか判断が難しいと思います。個人情報の取り扱いも厳しく、環境調査票も家族欄も職業なども書けない状況なので、外部の関係機関との連携なくしては難しいと思います。その辺はどのようにされていますでしょうか
生涯学習課長	・支援員の研修は年2回行っております。外部の関係機関、福祉部門との連絡協議を年3回ほど行い、情報提供を受けております。
廣田委員	・児童相談所や民生委員などから情報が上がってくることが多いと思

生涯学習課長 廣田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年から、こども家庭課とも連携しています。</li> <li>・ぜひ、ほかの外部機関と連携しながら、多くの情報を集めることで早く問題解決にたどり着くと思いますので、大変だと思いますが、よろしくをお願いします。段々充実してきたことはすばらしいと思います。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、柿木委員が初めてなので、簡単にこの事業の説明をしていただけますか。</li> </ul>
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国のモデル事業として、平成 28 年度に課題を抱える家庭、孤立しがちな家庭に対して不登校や登校しぶりの児童の支援をどうするかということでスタートしました。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親が孤立するので、親同士をつないだり、話合いの場を作っていますね。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を抱えている家庭に支援員が根気よく訪問して、心を開いてもらって、最終的には子供に教育を届けるという趣旨ですね。待つのではなく、こちらから積極的に寄り添っていこうということですよ。</li> </ul>
教育次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でサロンを開設して、困り感のある親同士をつなげたり、行事に合わせて相談する機会を設けたり、福祉部局とも連携して、家庭に入って困り感を解消したり、ケース会議を開いて学校と福祉部局とが個別に具体的な支援の入り方の協議を進めています。その中の一つとして、「とどける」家庭教育支援事業があり、家庭に一番近いものになっている事業です</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員はどのような方がいますか。</li> </ul>
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会委員、保健推進委員、民生・児童委員、元保育士、主任児童委員、元教員、元保健師の方がおられます。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方々がチームとなって動くのですね。</li> </ul>
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で学校から推薦をもらって支援員になっていただいておりますので、学校と連携しております。</li> </ul>
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「とどける」家庭教育支援事業と絡んでいます。これから夏休みが始まり、いろいろな家庭の子供がいて、今まで給食でどうにか頑張ってきた子供もいると思います。家庭に居場所がない子供が、図書館や P L A T A B C に行ったり、プールに行ったりすることで、そこであざがある子供がいたら、職員が担当者に連絡するなどの情報共有をしたら良いと思います。夏休みは子供が家にずっといるので、親子げんかやネグレクトがひどくなったりすると聞きます。遊びに出かけた場所で異変を見つけたら、事前にそのような状況を把握していれば、横のつながりを利用して、子供たちを守ることになり、家庭教育支援の担当者に連絡することで自宅に出向いてもらうなど、連携して早め早めの対応と支援をしていただきたいと思います。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇で学校の目が届かないので、地域や各施設が早めに情報を共</li> </ul>

渡邊委員	<p>有して、つないでいくことが大事ですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちがプールや施設など外へ出掛けるよう学校からのアナウンスが必要だと思います。P L A T A B Cや科学センターなどのイベント情報を学校に提供し、学校から子供たちにアナウンスして、子供たちの異変を見つけたら担当に連絡するなど、連携して対応していけると良いと思います</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P L A T A B Cなど、敷居が高くないことを改めてP Rしていけば良いと思います。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども館や図書館も同様にP Rしたら良いですね。</li> </ul>
英語教育推進室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P L A T A B Cでは夏休みにイングリッシュキャンプを行います。各学校の全校児童生徒にチラシを配布しているので、しっかり活用していただきたいと思います。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館、中央図書館、科学センター含めて何かございますか。</li> </ul>
廣田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いこいと学びの交流テラス」という大きなコンセプトの中に科学センターという機能を持った施設が入るということで、今、常設展示や理科教育、科学の専門的な企画を練っておられると思いますが、先進地視察に行かれて、どのような構想を持たれていますか。</li> </ul>
科学センター職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方で活発に取り組まれている「高知みらい科学館」に視察に行きました。科学センターで現在行っている科学教室に加えて、今後考えている学校の団体受け入れや週末のサイエンスショーなど、高知では上手く仕組みを作って運営されていました。それとボランティアの活用ですね。多世代の方が来館されると思いますので、生涯学習的な面からも科学センターとしてどのような関わりが持てるかという部分を先進地の運営方法を聞きながら勉強してまいりました。</li> </ul>
廣田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営協議会に参加した際に、自然環境を生かした岩国独自の施設ができると良いという多くの意見がありました。大きな予算を使っておりますし、ぜひ岩国に特化した中身の充実を図っていただきたいと思います。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中身的にはすばらしいものができると思います。自然観察の面から見て、周辺の森を生かしてほしいです。子供たちが理科や生活科で材料として使うクヌギの木は植えますか。</li> </ul>
教育次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビオトープとともに、クヌギの木も植えます。変更ありません。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりにも種類がたくさんあります。子供が採取して遊んだり、やじろべえを作ったり、直に体験できる場にしてほしいという話を以前からしてきましたが、構想に含まれていますか。</li> </ul>
科学センター職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、子供たちが自然体験できるようにハード面は整ってきています。それを生かす方法を検討してまいります。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大いに期待しております。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊歩道の周りに植樹して、木に名札を付け、ビオトープも作り、生き</li> </ul>

	<p>た自然環境・学びができるように考えています。令和8年度のオープンに黒磯の上の方からバイパスをつなげる整備は間に合いませんが、踏切を渡らずに藤生駅の線路に並行してアクセスできるよう進めており、こちらは供用開始に間に合いそうです。</p>
<p>廣田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踏切を渡ることが、拠点整備で一番の問題点でしたので、それがクリアできれば素晴らしいです。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館は今解体しておりますが、令和8年度に完成ですか。</li> </ul>
<p>中央公民館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年12月に完成し、令和8年度に開館します。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのほか質問等ございませんか。</li> </ul>
<p>柿木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育政策課にお尋ねします。トイレ以外の不具合はないのでしょうか。東小学校の階段の手すりが壊れていて、通行止めになっているとか、雨漏りにより床が腐っているなどの話を聞きましたが、優先順位はどのように付けているのか教えてください。</li> </ul>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの改修事業はそれとして行い、併せて学校施設の修繕につきましては、学校からの依頼に基づき、その都度修繕している状況です。規模により、一定の予算が必要であれば、数年かけて行うものもあれば、都度対応しているものもあります。</li> </ul>
<p>柿木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここに上がっていないものも対応はしているということですね。</li> </ul>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。そうです。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレは政策的に洋式化していこうと、設計と工事をローリングして長期的にやっています。</li> </ul>
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全を第一に行っています。</li> </ul>
<p>教育次長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の修繕や補修は別予算を確保しておりますが、例えば灘小学校の屋内運動場の改築など、規模の大きいものは個別に予算計上をして使い分けをしています。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東小・中学校はまだ建って2年くらいで新しいのに、雨漏りがあるなら施工不良ではないのですか。</li> </ul>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不具合につきましては、児童生徒に支障がないように対応しているところです。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原因究明を早急に行ってください。</li> </ul>
<p>柿木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習課の「とどける」家庭教育支援事業について、大変素晴らしい事業だと感じています。予算が約300万円で支援員が57人となると、単純に人数で割っても一人5万円程度で人件費と捉えても少ないと思いますが、内訳としては支援員の方への謝礼金ですか。</li> </ul>
<p>生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員が活動したことに対する報償費になります。</li> </ul>
<p>柿木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定額ということではないのですね。</li> </ul>
<p>生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間給になります。</li> </ul>
<p>柿木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このくらいの活動量ということですね。</li> </ul>
<p>生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうです。</li> </ul>

市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玖珂こどもの館ホール排水設備設置工事は、これまでに何度も浸かっていますが、ポンプを2台据えるということですか。</li> </ul>
周東支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは、可動式のポンプを持ってきて、人力で据えていましたが、ポンプが倒れたり、排水ホースがよれて上手くいかないことが多かったので、工事により、安定して排水できるようにします。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水が溜まる前提でポンプを2台設置するということですが、水が溜まらない対策はしないのですか。</li> </ul>
周東支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方として、地下水が湧水できないように床を完全にシャットアウトする方法もありますが、そうすることによって、ほかの場所から予期せぬ湧水が出て、排水ができなくなる危険性があります。今、水が溜まっているところは、比較的道路側溝に近く、建物の外側にあるので、排水がしやすいところに水が溜まっている状況です。そこをシャットアウトして、客席の方に湧水ができてしまうと排水が難しくなってしまうのではないかとこの想定で対応しております。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水を止めると予期せぬことが起こったり、原因が分かっているから、とりあえずポンプで対応するということですね。</li> </ul>
周東支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は排水しやすいところに水が溜まっています。今回の7月の豪雨でも、倉庫の下に40センチメートルほど浸水し、手動で対応しましたが、安定性に欠けました。夜中に見に行ったりもしています。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40センチメートルとは全体のどれくらいですか。</li> </ul>
周東支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の4分の1から5分の1程度です。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水が入るのは面白くないですが仕方ないですね。</li> </ul>
周東支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・位置が低いので、職員が休日や深夜にも見に行っている状況で、工事が終わると安心できると思います。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのほか、何かございませんか。</li> <li>・本日の議題、令和5年度の教育関係施策の主な取組につきまして、皆様から大変貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。今後とも、相互に連携して、教育行政の更なる充実・発展に向け、事業を推進していきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</li> <li>・それでは、これをもちまして、令和5年度第1回岩国市総合教育会議を閉会します。</li> </ul>